

学校教育目標	共生～仲間とともに高め合える人～				
	○自ら課題を解決し、学んだことを活用する力を育てます。(知) ○自ら進んで考え、判断し、主体的に発信・行動する力を育てます。(体・開) ○多様な価値観を認め、尊重し、他者と協働して社会を創る力を育てます。(徳・公)				
学校概要	創立 42 周年	学校長 土信田 園子	副校長 西田 いずみ	2 学期制	一般学級: 6 個別支援学級: 2
	児童生徒数: 153 人 主な関係校: 富岡東中学校 並木第四小学校 並木中央小学校 並木第一小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	富岡東・並木中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
○気づき、考える力 ○先を見据えて行動する力 ○発信する力・伝え合う力	並木中学校 富岡東中学校 並木第一小 並木中央小 並木第四小	「聴く力」「発信する力」を身につけた子ども ・「相手(他者)を受け止め、自分の考えを深めていくことのできる『聴く力』を意識し、日々の教育活動を行う。 ・特別支援教育を重点として、自分と相手(他者)との関わりの中で、考えの共通点や相違点を認め、自分の思いや考えを相手に伝えられるように支援をする。 ・「あいさつ運動」を通して、児童生徒の目を地域に向け、自分と相手(他者)とのコミュニケーションについて考える機会を設ける。

中期取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・習得した知識を自らの生活に結びつけ、活用する機会を設けます。 ・生徒が自己を振り返り、課題を見つけ、それを改善できるような学習活動を展開していきます。 ・多様な意見を受け入れながら、自らの考えを広げ、発信できる力を育てます。 ・生徒一人ひとりが自分らしさを発揮し、互いに尊重できる態度を育みます。
---------------	--

重点取組分野	具体的取組
知 授業改善	①生徒が学習の見通しをもち、主体的に自己の課題解決に取り組めるよう学習プランを見直し、工夫を行うなどの授業改善を図る。 ②学びのつながりを総合的な学習の時間に生かすとともに、各教科の学びの深化や探求につなげ、発信する機会を設定する。
徳 豊かな心	①誰もが安心して学校生活を過ごし、一人ひとりの個性を認め合える学校づくりを行う。 ②学校教育全体で道徳教育を充実させ、相手の思いを聴き、自分の思いを伝えることができる生徒を育てる。 ③YPアセスメントの効果的な活用を進め、学級経営と授業力向上を図る。
体 健康・安全教育	①個々の生活を振り返るとともに、健康で安全な生活や健全な食生活について理解を深め、解決に向けて思考し判断したり、他者と意見を共有したりすることで課題解決に向けての実践力を育てる。 ②授業・体育的行事を通して、豊かなスポーツライフに向けた実践力を身につける。
公開 自分づくり教育	①職場体験学習などの進路学習を通して自己の適性にあつた進路の実現に向けて主体的に学習に取り組み、将来についての意思決定を行えるようにする。また、「フォーサイト手帳」を活用し、自己管理能力の確実な定着を図る。②生徒主体の生徒会活動を活発に行い、他者とのかかわりの中で自分の思いを表現しながら、多様な意見を認め、受け入れられる生徒を育成する。
いじめへの対応	①いじめの定義について、教職員・生徒・保護者・地域に周知し、学校に関わるすべての人がいじめに対する正しい認識をもち、「いじめは許されない。」という共通認識を持てるようにする。②いじめが想起される事案が発生した場合は、速やかにいじめ防止対策委員会を開き、事実関係の調査と対策方針を全職員で共有する。③教育相談やYPアセスメントを活用して、生徒・保護者に寄り添いながら、外部機関とも連携して、問題の解決に努める。
人材育成・組織運営(働き方)	①メンターチームを組織し、コーディネーターを中心としながら、年3回程度の研修を行い、経験の浅い教員の育成を図る。②研究授業、校内研修を意図的、計画的に実施しながら、教師力の向上を目指す。③学校運営組織や行事をあらゆる点から見直し、教職員の働き方改革や負担軽減を図る。今年度より、新たな時程を導入し、ゆとりをもった教育活動につなげる。また、その結果を検証し、次年度以降につなげる。
地域学校協働活動	①学校と地域、保護者の三者が「子どもたちの将来のために何が出来るか」という目的で協力体制をつくりあげる。②18歳成人やSNSトラブル、中学生を取り巻く問題についての講習会等を開催し、そこに保護者や地域の人に参加して貰い、知識を深める。③中学生と一緒に取組む行事を通して、中学生と保護者・地域を繋ぐ橋渡しをする。
生徒支援活動	①生徒、保護者の気持ちに寄り添い、学校ができる最善の支援体制をつくる。また、必要に応じて、区役所や医療機関、児相、警察などの外部機関と連携を取りながら、生徒の支援策を考え、実行する。 ②生徒が自らの失敗や心配事に気づき、それに対する解決方法を見つけられるように支援をすることで自浄作用を向上させる。
特別支援教育	①生徒同士の関わりや意見の共有を通して、自分や相手の良さを認め、自己受容を促せるような働きかけを行う。②一人ひとりの生徒の成長を一面的ではなく、多面的に捉え、生徒の個に応じた支援を組織で行う。
a15	b10